



有限会社プライドロック SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 菅原 卓

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能な社会実現のため、食品ロス問題や省資源化へ果敢に取り組む

- ・コンビニエンスストア業界最大の課題である『食品ロス削減』に向け、あらゆる取り組みを行っていきます。
- ・具体的には、本部への発注数の精度を更に高めるほか、こまめな店舗オペレーション（「てまえどり」の推奨、「エコ割」の利用、値下げ販売の使い方や声かけ等）の実施を、スタッフに徹底していきます。
- ・店舗から出るゴミ、特にプラスチック系のゴミを減らしていくため、店舗オペレーションや顧客への声掛け等の工夫を重ね、ゴミ袋・レジ袋・はし・スプーン等の用度品の発注量削減に取り組んでいきます。



【指標】

2022年度 食料品売上に占める食品ロス率（金額） 7.2% ⇒ 2030年度 3.6%（▲50%）
2022年度 店舗で利用する用度品 4,407ケース(発注倍数)⇒ 2030年度 3,084ケース(▲30%)

皆が夢や希望を持って安心して働くことができ、スキルアップできる職場

- ・シフト管理を徹底し、健康管理に努めるほか、働きやすい職場環境づくりにも力を入れていきます。
 - ・店長・マネージャーが中心となってSST研修（※）を実施し、ファミリーマートの資格制度『ファミマ マスター（上級）』の取得者増加を目指します。
 - ・外国人スタッフには、様々な言語のマニュアルを作成し、言葉に加えて生活ルールの教育も行っていきます。
 - ・店長・マネージャーやスタッフのモチベーション向上のため、昇給基準による時給UPを行っていきます。
- （※）SST（ストアスタッフトータルシステム）とは、スタッフを対象とした様々な教育プログラムのことです。段階的に学べるプログラムで、一人ひとりのステップアップをサポートしています。「ファミマ スタッフ」にはじまり、「ファミマ マスター」「ファミマ サブトレーナー」「ファミマ トレーナー」「ファミマ マスター」までの5段階に分かれています。



【指標】 2022年度 ファミリーマートの上級資格取得者数 9名 ⇒ 2030年度 累計35名

地域の脱炭素推進をリードしていく

- ・事務所や店舗の節電を進め、CO2 排出量を削減していきます。
- ・具体的には、冷暖房の温度設定や店内調理用フライヤーの電源をこまめに設定する等の取り組みを行っていきます。



【指標】

2022年度 全体の電気使用量 1,646,964kwh ⇒2030年度 1,482,000kwh（▲10%）

安心安全な地域社会の実現に貢献する

- ・地域社会を『ファミリー（家族）』にとらえ、地域社会の課題解決に取り組んでいきます。
- ・地域の防犯や見守り拠点としての機能を強化し、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる社会の実現に貢献していきます。また、災害時の災害支援拠点としての機能も強化していきます。
- ・自治会等の地域行事へ積極的に参加していきます。

